

ACE 人権通信 7月

人権教育・啓発通信:「エース」
発行:阿南中学校人権教育部
(No.4)2023年7月28日(金)
文責:人権教育主事 中岡 和也

蒸し暑い日が続いていますが、阿南中生は汗をいっぱいかきながらも授業や部活動に一生懸命取り組むことができています。4月から7月の間で阿南中生のいいところをいっぱい見ました。困っている人がいたら助けられる生徒がいたり、廊下を通ると挨拶をしてくれる生徒もいたりして幸せな日々を送ることができました。

7月には、学年別校内人権作文意見発表会が行われました。学級代表1名がみんなの前で作文を発表しました。その後、「阿南中いじめサミット0宣言」を各学級で考え、差別やいじめがない居心地のよい学校にしていくことを誓い合いました。

9月から差別やいじめをなくすために特別なことをするのはなく、「自分は人を傷つけない」という気持ちを持ち続けることや「仲間の意見をしっかりと聴く」こともなくすための行動です。また、「人権学習に真剣に取り組む」ことで、自分の知識やできることを増やし、行動していきましょう。



◇阿南中学校人権学習授業研究会について

6月30日(金)に本校で人権学習授業研究会を実施しました。1年5組では、インターネットによる人権侵害についての学習を通して、SNSのもつよさや相手を傷つけてしまう道具になってしまうことを学級で考えました。SNSを利用する側の責任の重さを知り、メッセージを送るときは相手の気持ちを想像して送ることの大切さを学びました。2年3組では、高齢者に対する人権侵害について学び、思いや願いについて考えました。そして、誰もが幸せに過ごせるために自分にできることは何かを考え、意見をまとめました。3年4組では、全国水平社の学習を通して、部落差別により夢や希望を諦めなければならなかった事実を知り、その中でも差別解消に向けて水平社運動を起こし、水平社宣言の内容から「人を大切にすることとは何か」を考え、意見を述べていくことができました。

1年5組・2年3組・3年4組のみなさんの頑張っている姿、素敵でした。佐條先生・高橋先生・石川先生の熱心な授業、素敵でした。今後もみんなで差別解消に向けて人権学習を大切に、優しさ日本一の学校にしていきましょう。



自分も悪口をストーリーにのせているところやLINEでけんかをしてしまっているところをたくさん見ました。その時はだいたい自分のことしか考えることができていなかったが、自分は何があっても、自分の事だけでなくまわりのことも考えて発言などをしていきたいです。そして、間違ったことをしている人がいたらとめられるようにしたいです。

(1年 品川 咲花)



誰もが過ごしやすい学級にするために、怒ったり嫌がったりするのはなく、ちゃんと丁寧な言葉で、相手が理解するまで、伝えていくことが大切だと思います。理解し合えると安心してその人に任せることもできるだろうし、不安になることもないんだと思います。言葉って簡単に伝えられるから、よい方向に使えるようになりたいです。

(2年 森本 千尋)



人を大切にすために…

- ①私は、周りにいる相手が傷つく言葉を何度も言ってしまったから、相手にとって傷つく言葉であるかないか考えて発言する。
- ②私が言われた言葉で傷ついたり、悲しんだりすることはいいと思っていたけれど、これからは自分のことをどうでもいいと思わずに自分を大切にしていこう。

(3年 幸田 紗耶)

◇学年別校内人権作文意見発表会を終えて

7月14日(金)に第1学年、7月18日(火)に第2学年、7月19日(水)に第3学年が学年別校内人権作文意見発表会を行いました。学級代表の生徒が身近にある人権課題や自分自身の実体験などさまざまな視点で発表することができていました。また、作文の発表を聴いて感想を書いたり、意見を発表したりする時間を設け、より深まりのある人権作文意見発表会となりました。

人権作文をみんなの前で勇気を振り絞って発表してくれたことに感謝しています。仲間の発表を聴いて意見を述べてくれたみなさんにもありがとうと言いたいです。みんなの前で意見を述べられなかったけど、発表を聴いて感想を一生懸命書いている姿にも感謝しています。みなさんのおかげで実り多い、学年別校内人権作文意見発表会となり、大変幸せな時間を過ごすことができました。ありがとう。

「第1学年」

学 級	代表者名	題 名
1-1	小原 風音	「決めつけ」
1-2	岡澤 花琉	「差別」
1-3	生田 希	「いじめと向き合う」
1-4	亀井 柚花	「命と向き合っていくために」
1-5	平尾 ちとせ	「インターネットの『いじめ』から考えたこと」



人がこの言葉を聞いたら、どんな気持ちになるのか、どんな感情がめばえるのかを考えていきたいと思いました。命を絶とうとする人と、そこまで追い込み、人のことを考えられない人が少なくなっほしいです。そして、「自分だったら」と考えられるようにしていきたいです。

(1年 立岩 希乃香)

「第2学年」

学 級	代表者名	題 名
2-1	佐藤 柑奈	「今の私たちのすべきこと」
2-2	北岡 杏菜	「言葉」
2-3	野口 侑花	「高齢者について学習して」
2-4	大島 奏菜	「平和のために」
2-5	西前 花菜	「思いやりのユニバーサルデザイン」

5人の発表を聴いて、すごく共感する作文ばかりでした。沖縄で戦争の悲惨さや残酷さを学んだだけで終わりではなく、昔の世界・日本で起きたことを他の戦争を知らない人に伝えていきたいと思いました。そして、普段私たちが使っている言葉は、使い方を誤れば人の大切な命を奪うことになってしまうので、改めて自分の言動に責任をもって生活したいです。

(2年 三木 夏歩)



「第3学年」

学 級	代表者名	題 名
3-1	吳羽 健心	「修学旅行で学んだこと」
3-2	林田 隆佳	「人権と私」
3-3	中岡 諒兜	「友達だからこそ注意してあげよう」
3-4	讃岐 優奈	「“今”の人権問題に繋ぐ」
3-5	島田 桜羽	「相手の気持ち、自分の考え」



人権についてさらに深く知ることができました。戦争のことや日常生活で起こったさまざまなことを自分と結び付けて考えることができました。5人の発表者の考えを聴いて「なるほど」と思いました。今日学んだことをこれからの生活にしっかり生かしていきたいです。

(3年 西本 聖空)

阿南中学校夏季人権教育研修会 案内

- 日 時 令和5年8月29日(火) 14:00~16:00(13:30受付)
- 場 所 阿南中学校 茜ホール
- 講 師 一般社団法人 山口県人権啓発センター
事務局長 川口 泰司(かわぐち やすし)さん
- 演 題 「ネット人権侵害と部落差別の現実
～『寝た子』はネットで起こされる!?～」

※参加希望される保護者の方は、8月22日(火)までに右のQRコードを読み取りお申込みください。

